

2. ミシン用縫糸に関する研究 (第2報)

—各種縫糸(シリコン加工糸も含む)の
収縮・伸長・強さ・及び伸長弾性率に
ついて—

昭和女子大 石毛フミ子
椎名 米子
植原 浩子

1. 第1報に引きつづき今回は新しく出来たシリコン加工のテトロン糸・ナイロン糸についての収縮・強伸・伸長弾性率及び前回実験材料の伸長弾性率についての実験を行った。

2. ① 収縮について

イ. 使用糸・テトロン糸(マリヤ印)ナイロン糸(グンゼ・マリヤ印)

ロ. 条件及び実験方法は前回と同じ

② 伸長及び強さについて

イ. 使用糸前に同じ

ロ. 実験方法前回に同じ

③ 伸長弾性率

イ. 使用糸は、前回の実験材料及び①と同様の材料

ロ. 実験方法、各種の糸をショッパー引張試験機を用い強伸度測定と同じ方法で、破断時伸長の30%、50%、80%まで引伸し1分間放置後荷重をとり、更に1分間放置後、初荷重をかけ残留伸を測り伸長弾性率を求めた。

3. ①収縮は、テトロン糸に於ては殆ど変化なし、ナイロン糸に於ては概して伸びているが、シリコン加工糸は変化が少ない。②強伸は、ナイロン糸、テトロン糸でシリコン加工糸は概して伸び、強さともに大である。③伸長弾性率は、ナイロン糸、シリコン加工ナイロン糸、カタン糸、テトロン糸、シリコン加工テトロン糸、絹の順である。